



1_謝辞を終え甲岡町長と握手を交わす越智さん 2_恩師からのコメントに思わず笑顔 3_記念品を受け取る二宮正行さん=近永= 4_懐かしい恩師からのビデオレター 5_太鼓集団「魁」が和太鼓演奏で激励 6_友人と記念撮影 7_新成人としての抱負は… 8_一生に一度の記念に満面の笑み 9_「みきゃん」も新成人たちを祝福

平成28年子泣かし天狗祭

平成26年に出生した子どもを対象とした「平成28年子泣かし天狗祭」は1月10日、広見体育センターで行われ、町内外から42人の子どもとその家族などが参加しました。明かりと、まるで霧が立ち込めているかのように演出によって、幻想的な雰囲気に包まれた会場。そこに和太鼓の音色が響き渡ると、幻

人の天狗が登場しました。ゆっくりとした足取りで歩み寄り、じつと顔を見つめてくる天狗に、子どもたちの表情には恐怖の色が徐々にじみ出します。そして、天狗が子どもの名前を一人ずつ読み上げると、子どもは保護者の手から天狗のもとへ。その瞬間、泣き叫んだり、目を見開いたり、中には全く表情を変えなかつたりとさまざまな反応を見せる子どもたち。その横では、「大きく育て」「可愛く育て」と叫ぶ保護者が太太鼓を力強く打ち鳴らしました。太鼓集団「魁」の演奏で幕を閉じた今年の「子泣かし天狗祭」。やはりその姿を見た途端に泣き始める子どもたち。会場内がそんな賑やかな声に包まれる中、その場にいた誰もが、参加した子どもたちの健やかな健康と幸せを心から祈願していました。

鬼ヶ城山に住む天狗は
太鼓の音につられて山里に下り
1人の子どもと出会う
しかし子どもは
天狗の恐ろしい顔に驚き泣いてしまう

子どもが大好きな天狗は困り果て
驚かせてしまったお詫びに
神通力で子どもに
健やかな成長と幸せをもたらす—